

横須賀市の通学路の改善が進んでいます!手軽にLINEで連絡しよう!!



横須賀市 道路の損傷 LINEで通報

市民が投稿、早期対応へ
[社会]

横須賀市は今年1日から、コミュニケーションアプリLINEを使った道路損傷報告を始めた。市民からの写真や現場状況の情報提供で、早期発見と迅速な対応につなげる。

「歩道が陥没している」「ガードレールが破損している」—など市は管理する道路の損傷などについて、市民から電話や来庁、メールなどで通報を受けている。その数は年間3300件以上にのぼるが、場所や損傷状況等の正確な把握や対応に時間がかかっていた。そこで、市では修繕箇所の情報共有ツールとして、スマートフォンを使った通報(報告)を模索。独自のアプリやLINEメニュー内に導入している他自治体の例を参考に検討を進めてきた。

写真と位置を送信



市公式アカウントの「発見」ボタンからスタート

三浦半島地域連合ではこの三浦半島で安心して働き・暮らせる街づくりを目的に毎年、三浦半島4市1町(横須賀市・三浦市・鎌倉市・逗子市・葉山町)に政策制度要求と提言を提出しています。

道路の白線が消えかかっているのは良く見ることがあると思います。

2020年に道路の白線対策を提案(特に通学路)していました。各市町からある程度納得のいく回答を頂いたため、現在は様子見としています。

今回紹介するのは横須賀市日の出町の通学路となっていますT字路です。生まれ・横断歩道表示は消えかかっていました。今回塗りなおしが行われ、左の横断歩道は新規追加となりました。

政策・制度要求と提言の回答で、横須賀市は2021年4月から道路損傷などを手軽に携帯で連絡できる、『コミュニケーション・アプリ』を立ち上げています。詳細は下記参照してください。

[LINE「発見」機能について | 横須賀市 \(city.yokosuka.kanagawa.jp\)](https://city.yokosuka.kanagawa.jp)

有効に活用し、安心・安全な街づくりを共に進めて行きましょう。